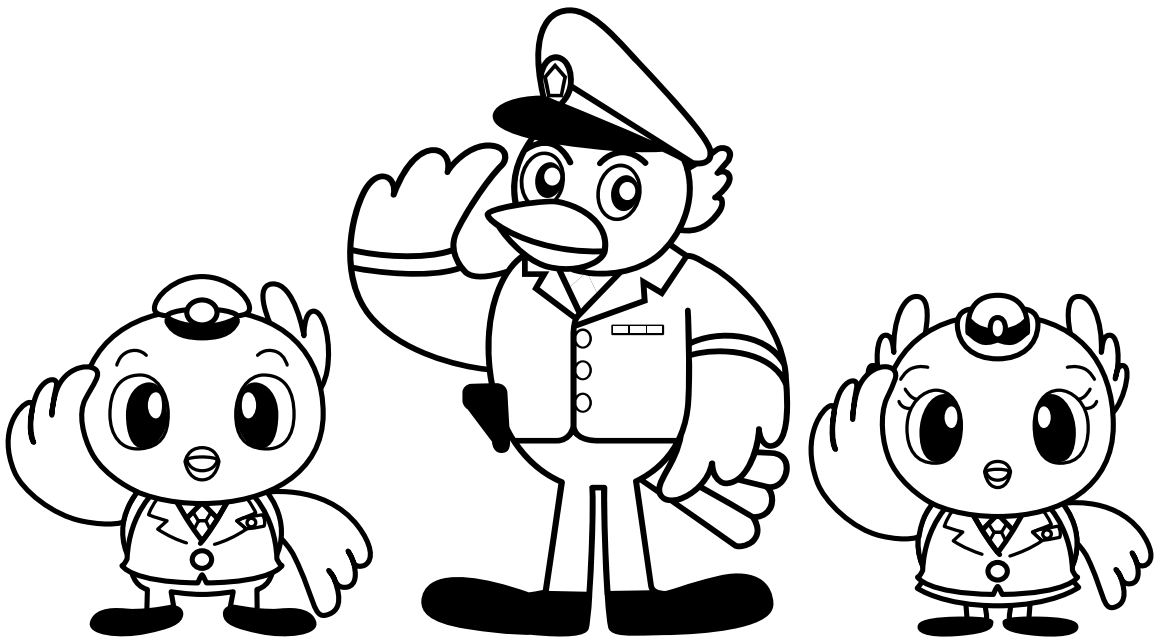


令和5年2月

令和4年中の  
交通事故発生状況



茨城県警察本部交通部交通総務課



# 目 次

1	概 況	1
2	高齢者(65歳以上)が関係した交通事故	5
3	高齢(65歳以上)運転者による交通事故	7
4	飲酒運転による交通事故	9
5	自転車が関係した交通事故	11
6	小学生・中学生・高校生が関係した交通事故	13
7	シートベルト着用状況	14
8	令和5年の総合的な交通安全対策	15
9	令和5年 交通安全年間スローガン	16

※ 本資料は令和5年2月15日までに入手したデータにより作成

# 令和4年中の人身交通事故発生状況

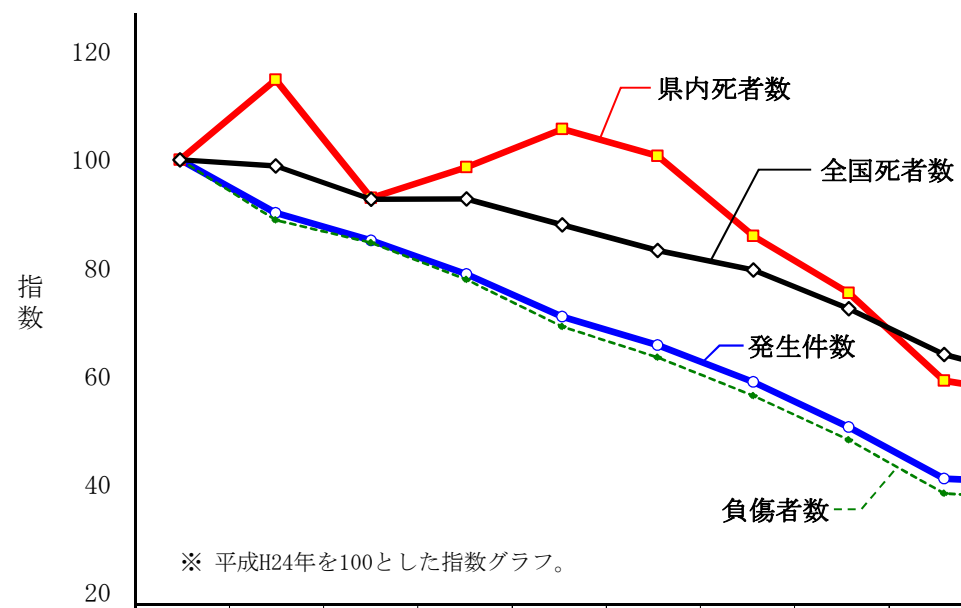
## 1 概況

### 県内人身交通事故・全国死者数の推移(平成24年～令和4年)

#### 死者数は91人、前年に比べ11人増加

- 発生件数は6,271件、平成12年(25,429件)のピーク以降、21年連続で減少したが、令和4年は増加。
- 死者数は91人、平成29年から5年連続で減少したが、令和4年は増加。
- 全国の死者数は2,610人(対前年比-26人)で、統計資料の残る昭和23年以降で最少を更新。

	発生件数	死亡件数	死者数	負傷者数
令和4年	6,271	88	91	7,699
令和3年	5,929	79	80	7,243
増減数	+ 342	+ 9	+ 11	+ 456
増減率	+ 5.8	+11.4	+13.8	+ 6.3



	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
発生件数	14,732	13,279	12,534	11,613	10,455	9,679	8,682	7,447	6,049	5,929	6,271
死者数	142	163	132	140	150	143	122	107	84	80	91
負傷者数	19,448	17,281	16,460	15,135	13,441	12,344	10,965	9,372	7,455	7,243	7,699
死者数ワースト順位	11位	10位	11位	11位	8位	9位	10位	9位	11位	11位	9位
全国死者数	4,438	4,388	4,113	4,117	3,904	3,694	3,532	3,215	2,839	2,636	2,610

#### 死者数は全国ワースト9位、人口当たりでは11位

- 死者数全国順位はワースト9位(前年11位)で、3年ぶりのワースト10圏内。
- 人口10万人当たりはワースト11位(前年21位)、自動車1万台当たりはワースト18位(前年31位)。

#### 死者数ワースト都道府県

順位	都道府県	死者数	増減数
1位	大阪	141	+ 1
2位	愛知	137	+20
3位	東京	132	- 1
4位	千葉	124	+ 3
5位	兵庫	120	+ 6
6位	北海道	115	- 5
7位	神奈川	113	-29
8位	埼玉	104	-14
<b>9位</b>	<b>茨城</b>	<b>91</b>	<b>+11</b>
10位	静岡	83	- 6
11位	岐阜	75	+14

#### 人口10万人当たり

順位	都道府県	死者数
1位	岡山	3.97
2位	岐阜	3.86
<b>11位</b>	<b>茨城</b>	<b>3.20</b>
全国平均		2.09

※ 人口(R4/10/1)

#### 自動車1万台当たり

順位	都道府県	死者数
1位	岡山	0.47
2位	高知	0.46
<b>18位</b>	<b>茨城</b>	<b>0.34</b>
全国平均		0.32

※ 自動車台数(R3/12/31)

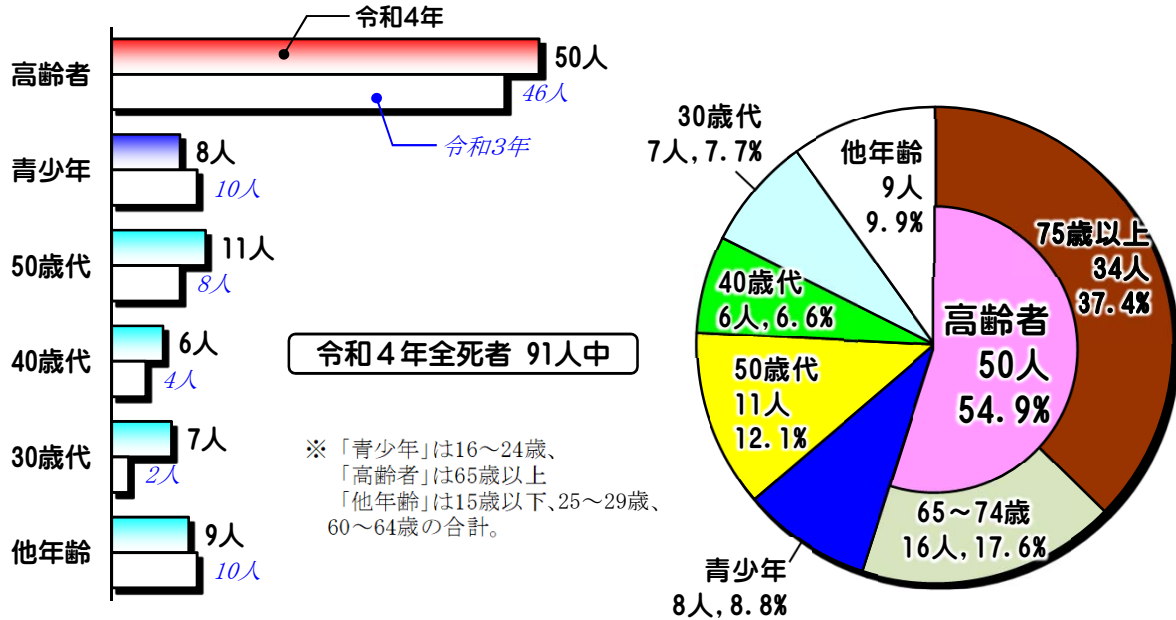
- 死者数91人  
全国ワースト9位  
【前年11位】
- 人口10万人当たり死者数  
全国ワースト11位  
【前年21位】  
※参照人口はR4年10月1日
- 自動車1万台当たり死者数  
全国ワースト18位  
【前年31位】  
※参照自動車台数はR3年中

※ 増減数は、対前年比。

**年齢層別死者数**

**高齢者の死者が5割を超える**

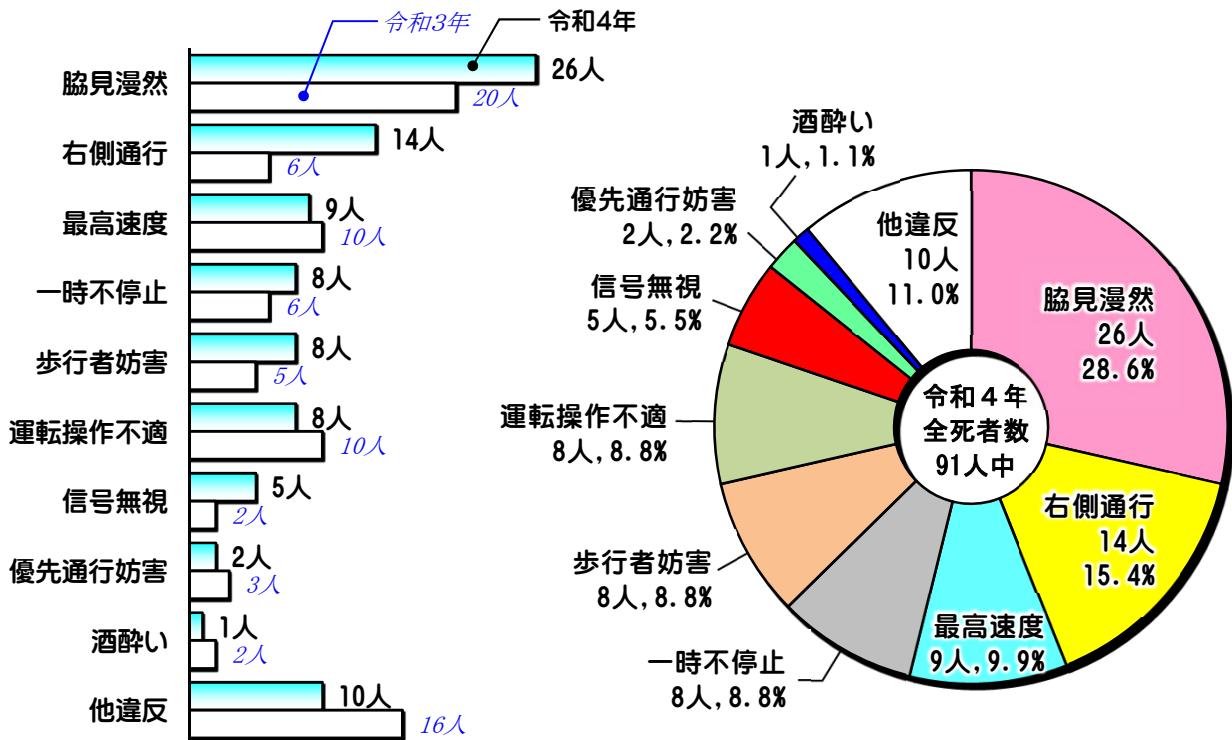
- 「高齢者(65歳以上)」が50人で、全死者の54.9%を占めるとともに、平成6年以降、連続して死者数の最も多い年齢層【高齢者の死者数(50人)は、全国ワースト9位】。  
高齢者の年齢層別では「75歳以上」が34人と多く、「65～74歳」は16人。
- 対前年比では「30歳代」(+5人)が最も増加、「青少年」(-2人)が減少。  
「40歳代」(+2人)、「50歳代」(+3人)、「高齢者」(+4人)は増加。



**第1当事者の違反別死者数**

**脇見漫然が最多、次いで右側通行**

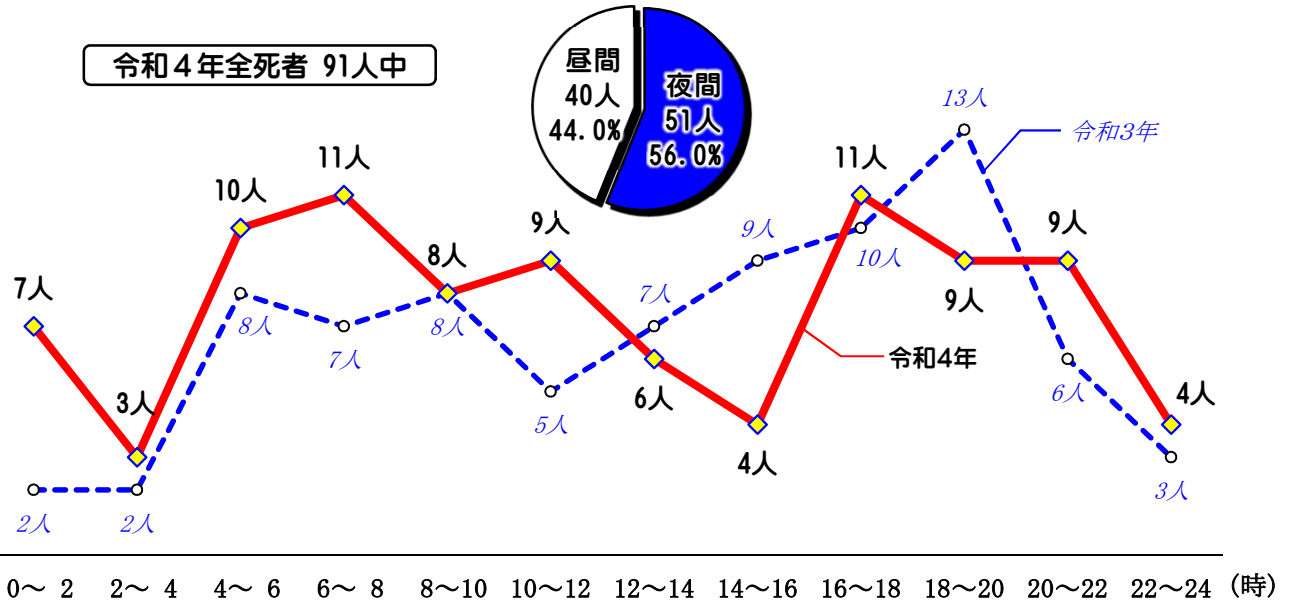
- 「脇見漫然」による死者数が26人で、全死者の28.6%を占め最も多く、次いで「右側通行」(14人)。
- 対前年比では「右側通行」(+8人)が最も増加、「運転操作不適」(-2人)が最も減少。



**時間帯・昼夜別死者数**

**夜間が約6割、時間帯は6～8時・16～18時が最多**

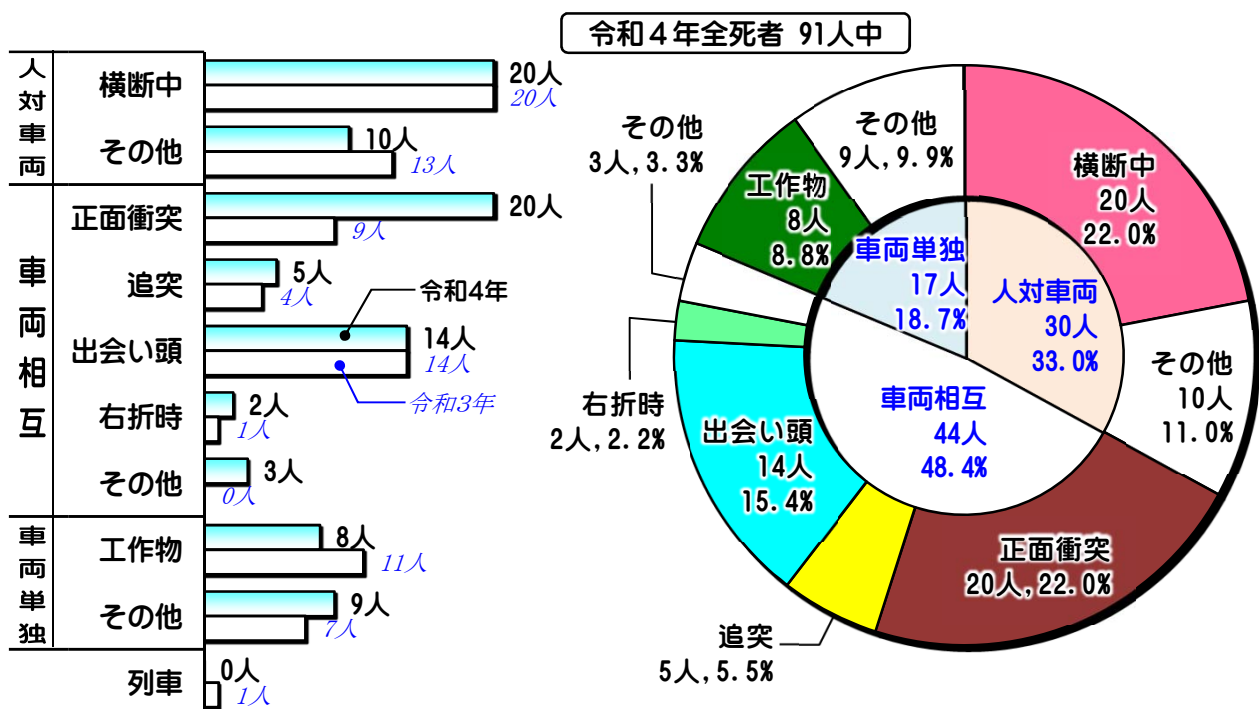
- 夜間が51人で全死者の56.0%を占め、昼間は40人(44.0%)。【前年は夜間40人、50.0%】  
対前年比では夜間(+11人)が増加、昼間(±0人)は同数。
- 時間帯では「6～8時」・「16～18時」(各11人)が最も多く、次いで「4～6時」(10人)。  
対前年比では「0～2時」(+5人)が最も増加、「14～16時」(-5人)が最も減少。



**事故類型別死者数**

**人对車両 - 横断中・車両相互 - 正面衝突が最多**

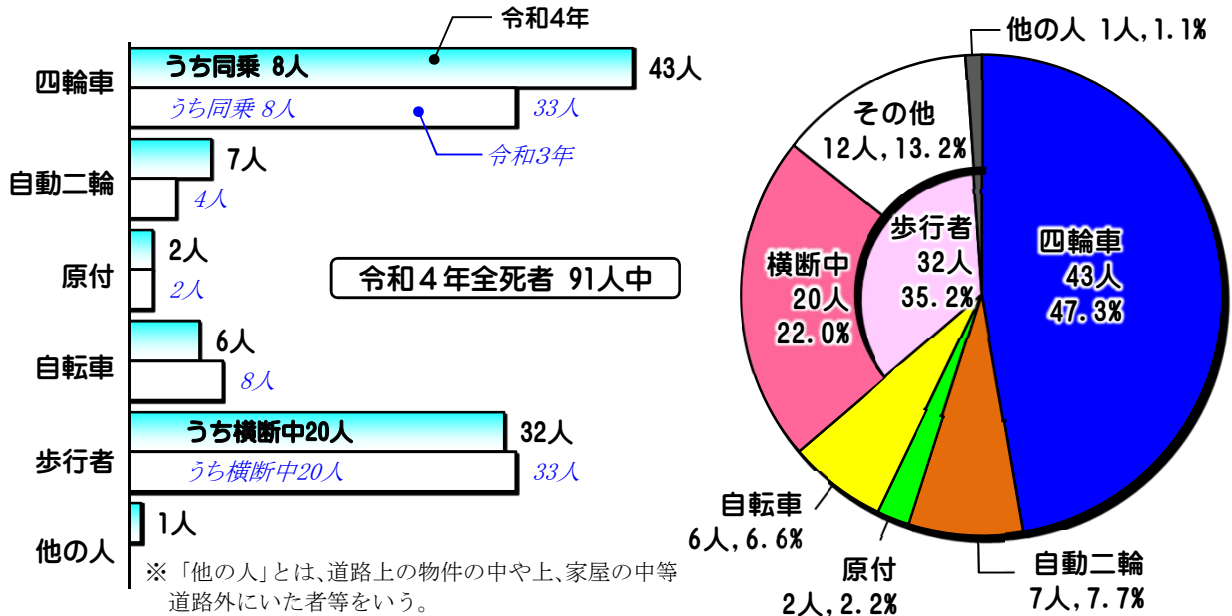
- 「車両相互」が44人で、全死者の48.4%を占め最も多く、次いで「人对車両」(30人)。
- 小類型では「人对車両-横断中」・「車両相互-正面衝突」(各20人)が最も多い。
- 対前年比では「車両相互-正面衝突」(+11人)が最も増加、「車両単独-工作物」(-3人)が最も減少。



**状態別死者数**

**四輪車が最多、次いで歩行者**

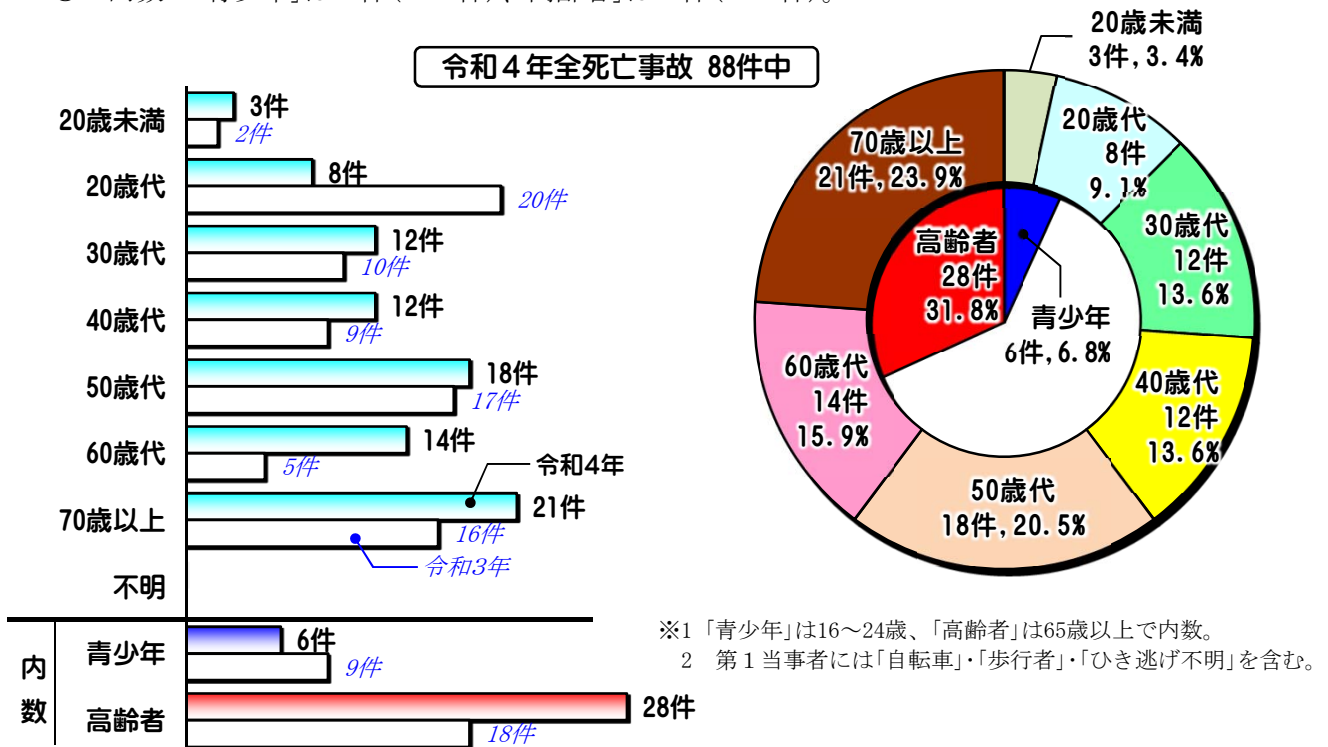
- 「四輪車」が43人で全死者の47.3%を占め最も多く、次いで「歩行者」(32人)。  
【前年は「四輪車」・「歩行者」が同数で最多(各33人、各41.3%)】
- 対前年比では「四輪車」(+10人)が最も増加、「自転車」(-2人)、「歩行者」(-1人)が減少。  
「自動二輪」(+3人)、「他の人」(+1人)は増加、「原付」(±0人)は同数。



**第1当事者の年齢層別死亡件数**

**70歳以上による事故が最多**

- 「70歳以上」が21件で、全死亡件数の23.9%を占め最も多く、次いで「50歳代」(18件)。
- 対前年比では「60歳代」(+9件)が最も増加、「20歳代」(-12件)が最も減少。
- 内数の「青少年」は6件(-3件)、「高齢者」は28件(+10件)。



※1 「青少年」は16～24歳、「高齢者」は65歳以上で内数。  
2 第1当事者には「自転車」・「歩行者」・「ひき逃げ不明」を含む。

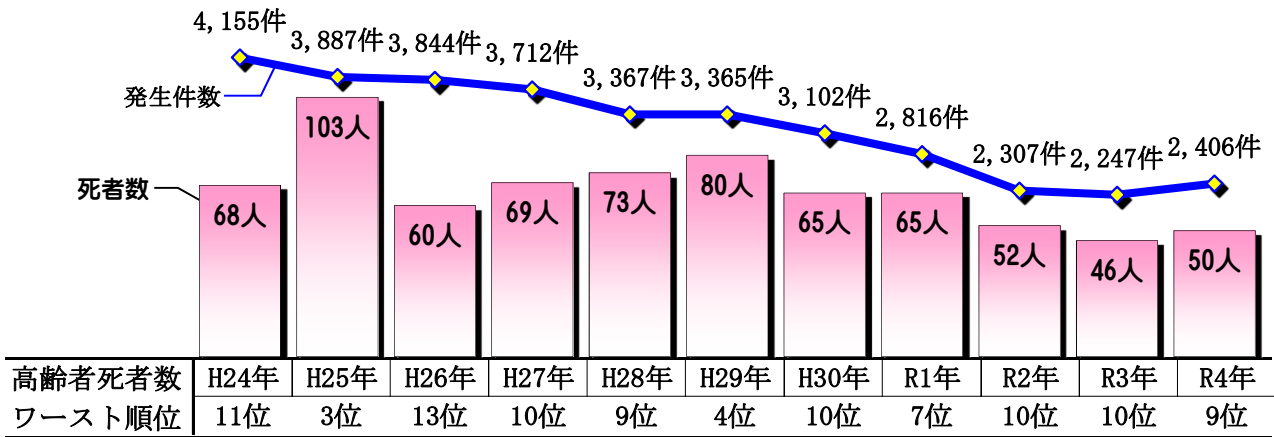
## 2 高齢者(65歳以上)が関係した交通事故

### 高齢者が関係した交通事故の推移(平成24年～令和4年)

#### 発生件数、死者数とも増加

- 発生件数は2,406件、平成25年から9年連続で減少したが令和4年は増加。全人身事故件数に占める割合(構成率)は38.4%(前年37.9%)で、統計資料の残る昭和63年以降、最高率を更新。
- 死者数は50人、対前年比+4人と増加。構成率は54.9%(前年57.5%)。
- 発生件数はピーク時(平成17年・4,927件)の約49%、死者数はピーク時(平成17年・130人)の約38%に減少。
- 死者数(50人)は、全国ワースト9位【前年10位】。

	発生件数	死者数	負傷者数
令和4年	2,406	50	1,226
令和3年	2,247	46	1,171
増減数	+ 159	+ 4	+ 55
構成率	38.4%	54.9%	15.9%

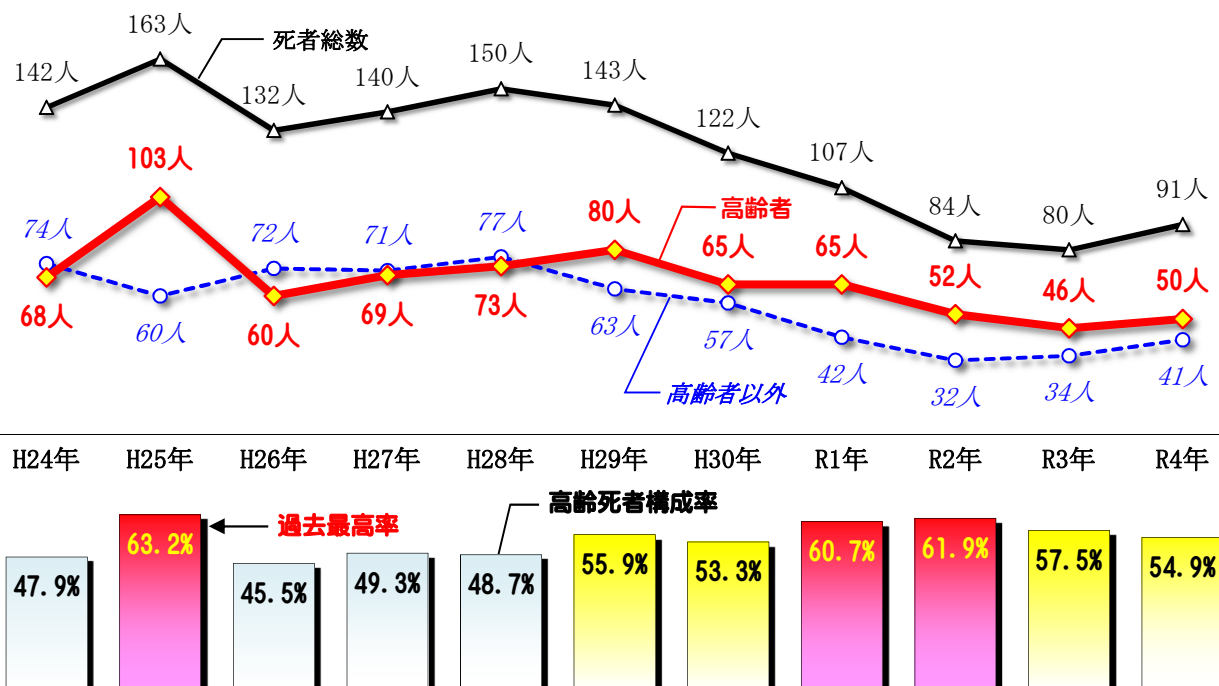


※ 発生件数は、高齢者が当事者(四輪同乗者等を含む)となった件数。死者数、負傷者数は、高齢者本人の被害。以下同じ。

### 全死者と高齢死者の推移(平成24年～令和4年)

### 高齢者の構成率は55%

- 死者総数は減少傾向で推移したが、令和4年は増加。平成24年(142人)に比べ、約64%に減少。
- 高齢者の死者は、平成30年から減少傾向で推移したが、令和4年は増加。
- 高齢者の構成率は、上昇下降を繰り返して推移、令和2年(61.9%)以降は2年連続で下降。
- 10年間の減少率比較では、高齢者以外の-44.6%に対し、高齢者は-26.5%と減少率が低い。



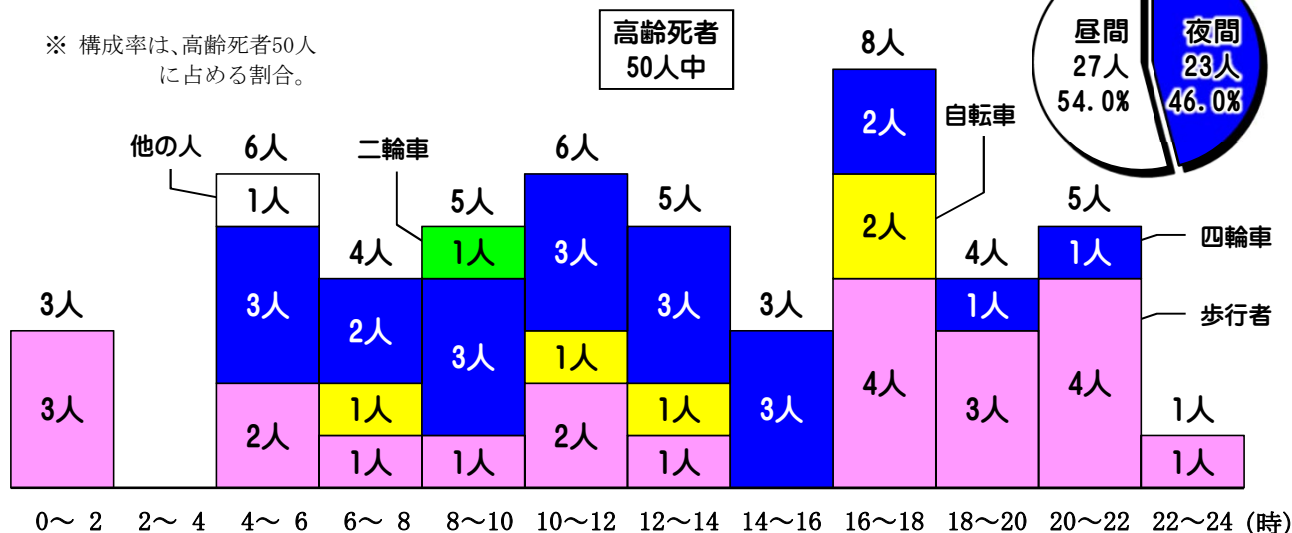


### 時間帯・昼夜別死者数

#### 16～18時が最多

- 昼間が27人(54.0%)と多く、夜間は23人(46.0%)。
- 時間帯では「16～18時」(8人)が最も多く、次いで「4～6時」・「10～12時」(各6人)。
- 状態・時間帯別では、「歩行者の16～18時」・「歩行者の20～22時」(各4人)が最も多い。
- 「夜間」の23人中、歩行者が15人で65.2%を占める。

※ 構成率は、高齢死者50人に占める割合。

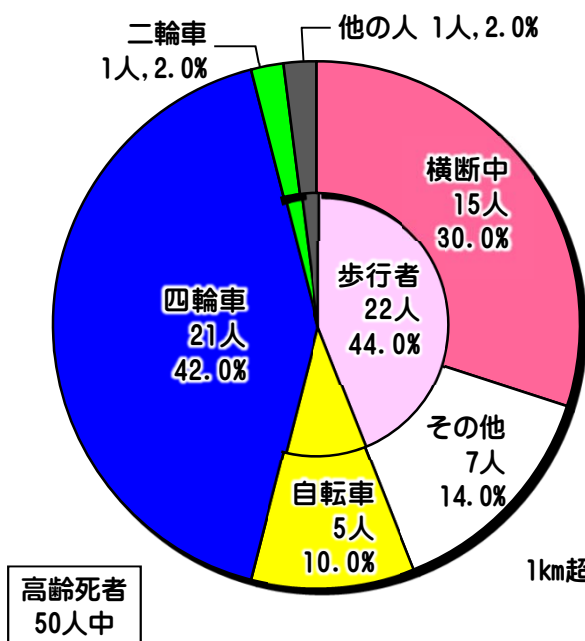


※ 昼夜の区分は、発生日の日の出、日没時刻基準。

### 状態別死者数

#### 歩行者が最多

- 歩行者が22人(44.0%)で最も多く、次いで四輪車(21人)。
- 歩行者・自転車の合計は27人、高齢死者の54.0%を占める。このうち81.5%(22人)は運転免許を保有しておらず、55.6%(15人)は、自宅から半径500m以内の場所で事故に遭っている。

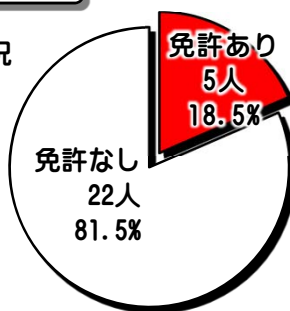


※ 構成率は、高齢死者50人に占める割合。

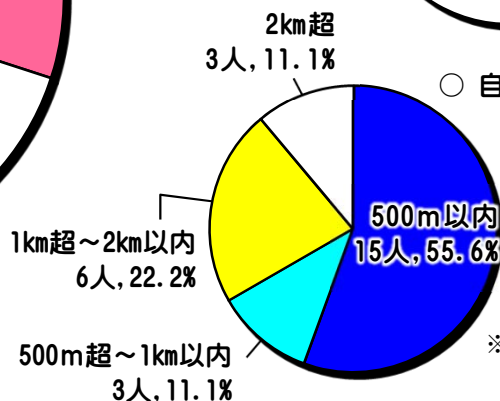
#### 歩行者・自転車 27人中

##### 免許保有状況

※ 「免許あり」には、過去に保有していた者を含めない。



##### 自宅からの距離



※ 構成率は、高齢者の歩行者・自転車死者27人に占める割合。

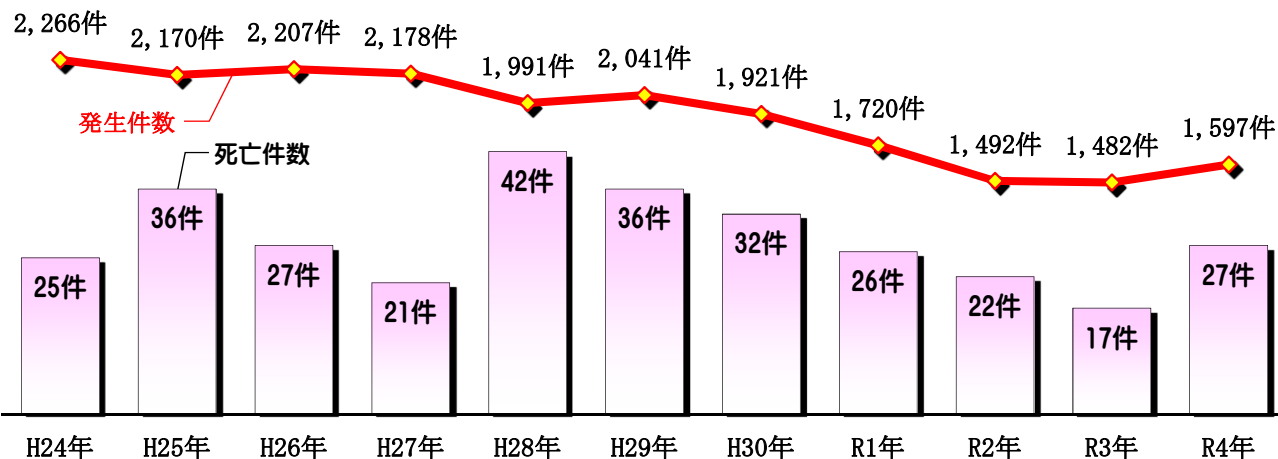
**3 高齢(65歳以上)運転者による交通事故**

**高齢運転者による交通事故の推移(平成24年～令和4年)**

**発生件数、死亡事故とも増加**

- 発生件数は1,597件、減少傾向で推移したが、令和4年は増加。全人身事故件数に占める割合(構成率)は25.5%(前年25.0%)で、統計資料の残る平成2年以降、最高率を更新。
- 死亡件数は27件、平成29年から5年連続で減少したが、令和4年は増加。全死亡件数に占める構成率は30.7%(前年21.5%)で、初めて30%を超える。
- 発生件数はピーク時(平成18年・2,541件)の約61%、死亡件数はピーク時(平成16年・49件)の約55%に減少。

	発生件数	死亡件数	死者数	負傷者数
令和4年	1,597	27	27	1,942
令和3年	1,482	17	17	1,786
増減数	+ 115	+ 10	+ 10	+ 156
構成率	25.5%	30.7%	29.7%	25.2%

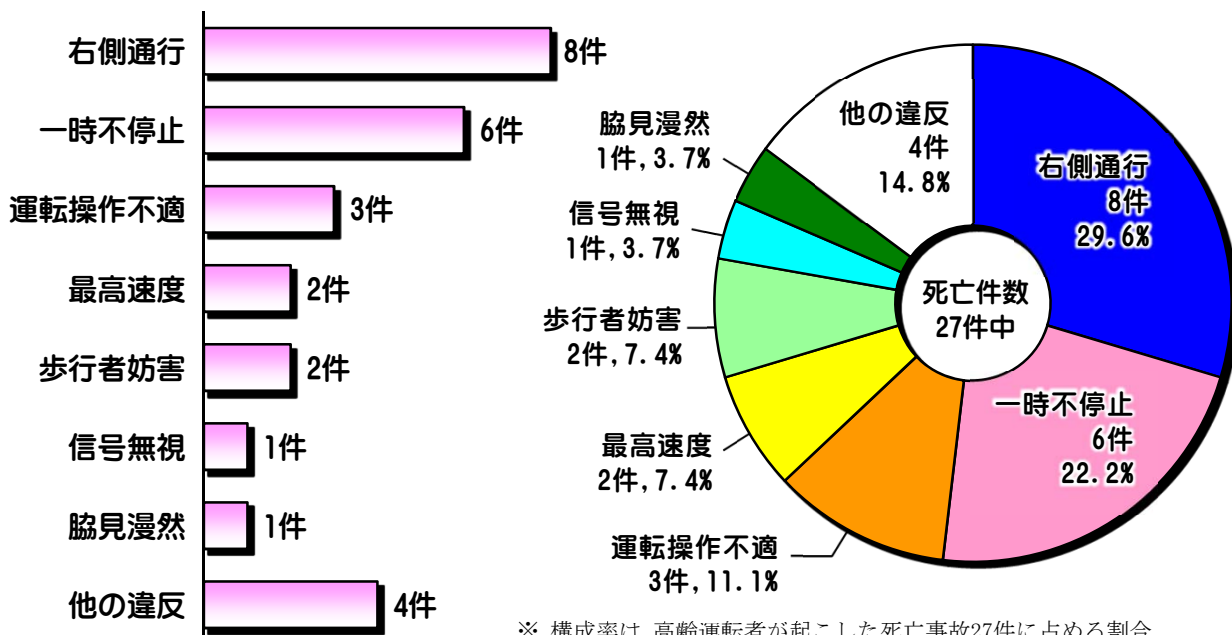


※1 発生件数は、原付以上の車両を運転中の高齢者(65歳以上)が第1当事者となった事故件数。死者数、負傷者数は、その事故による全被害で、高齢運転者が死傷しているとは限らない。以下同じ。  
 2 死亡件数は、発生件数の内数。

**違反別死亡件数**

**右側通行が最多**

- 「右側通行」が8件(29.6%)で最も多く、次いで「一時不停止」(6件)。
- 対前年比では「右側通行」(+7件)が最も増加、「運転操作不適」(-4件)が最も減少。

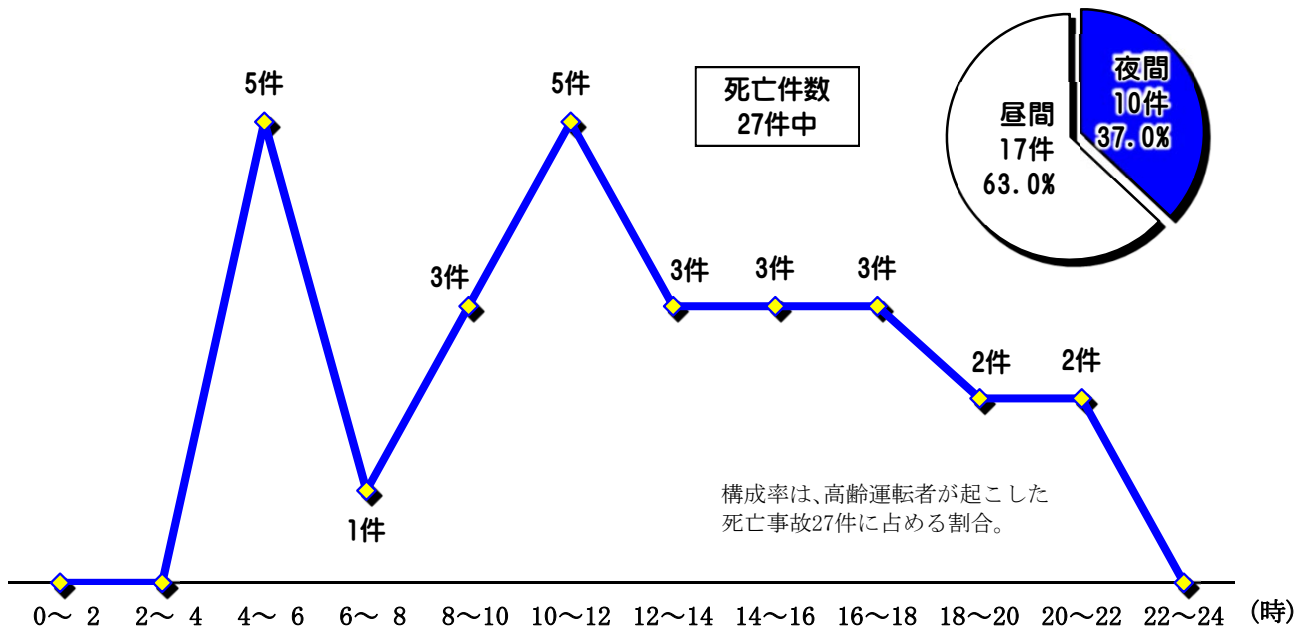


※ 構成率は、高齢運転者が起こした死亡事故27件に占める割合。

**時間帯・昼夜別死亡件数**

**昼間が6割を超える**

- 「昼間」が17件(63.0%)と多く、「夜間」は10件(37.0%)。
- 時間帯では「4～6時」・「10～12時」(各5件)が最も多い。

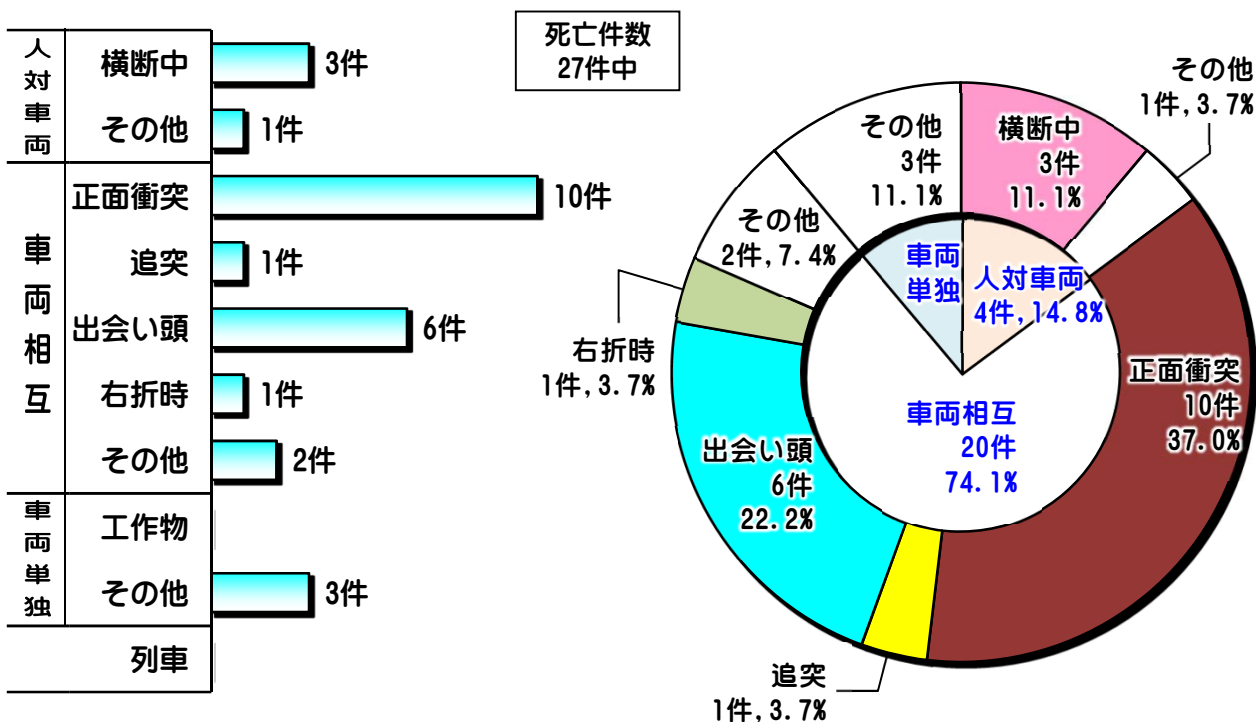


※ 昼夜の区分は、発生日の日の出、日没時刻基準。

**事故類型別死亡件数**

**正面衝突が最多**

- 「車両相互」が20件(74.1%)で最も多く、次いで「人对車両」(4件)。
- 小類型では「車両相互-正面衝突」(10件)が最も多く、次いで「車両相互-出会い頭」(6件)。



※ 構成率は、高齢運転者が起こした死亡事故27件に占める割合。

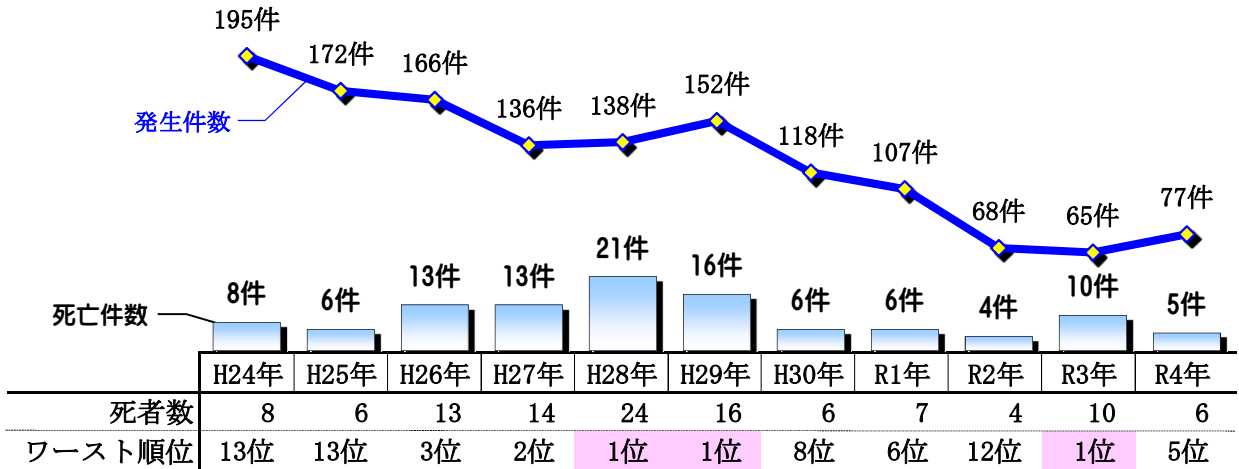
**4 飲酒運転による交通事故**

**飲酒運転による交通事故の推移(平成24年～令和4年)**

**発生件数は増加、死亡事故は減少**

- 発生件数は77件、減少傾向で推移したが、令和4年は増加。全人身事故件数に占める割合(構成率)は1.2%(前年1.1%)。
- 死亡件数は5件(対前年比-5件)、死者数は6人(対前年比-4人)と減少、全死亡件数に占める割合(構成率)は5.7%(前年12.7%)、死者数は6.6%(前年12.5%)。
- 発生件数はピーク時(昭和49年・1,072件)の約7%、死者数はピーク時(平成3年・111人)の約5%に減少。
- 死者数(6人)は、全国ワースト5位【前年1位】。

	発生件数	死亡件数	死者数	負傷者数
令和4年	77	5	6	99
令和3年	65	10	10	82
増減数	+ 12	- 5	- 4	+ 17
構成率	1.2%	5.7%	6.6%	1.3%

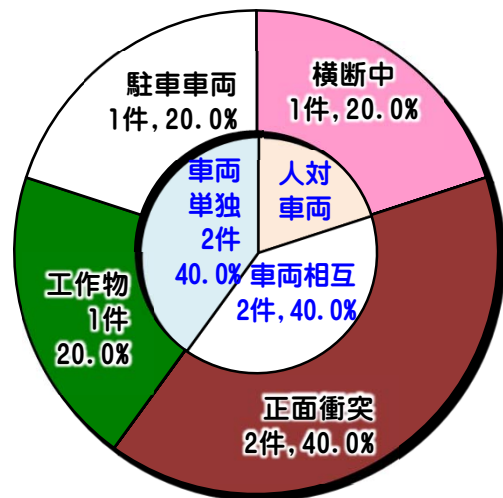
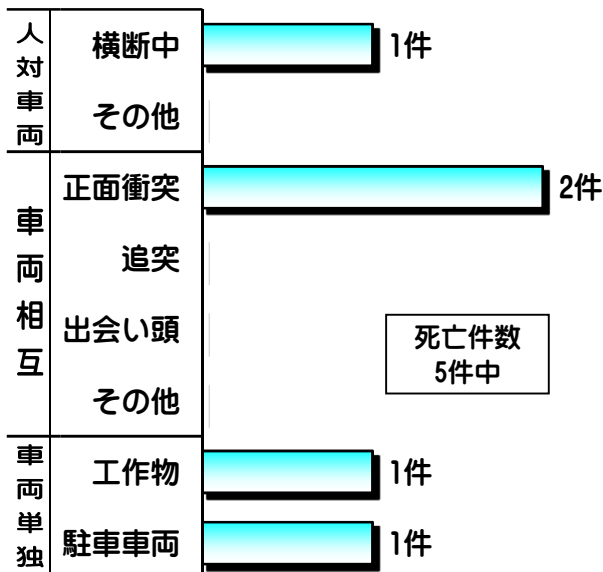


※1 発生件数は、原付以上の飲酒運転者が第1当事者となった事故件数。死者数、負傷者数は、その事故による全被害で、飲酒運転者が死傷しているとは限らない。以下同じ。  
 ※2 死亡件数は、発生件数の内数。

**事故類型別死亡件数**

**正面衝突が最多**

- 「車両相互」・「車両単独」が各2件(各40.0%)で最も多い。
- 小類型では「車両相互-正面衝突」(2件)が最も多い。

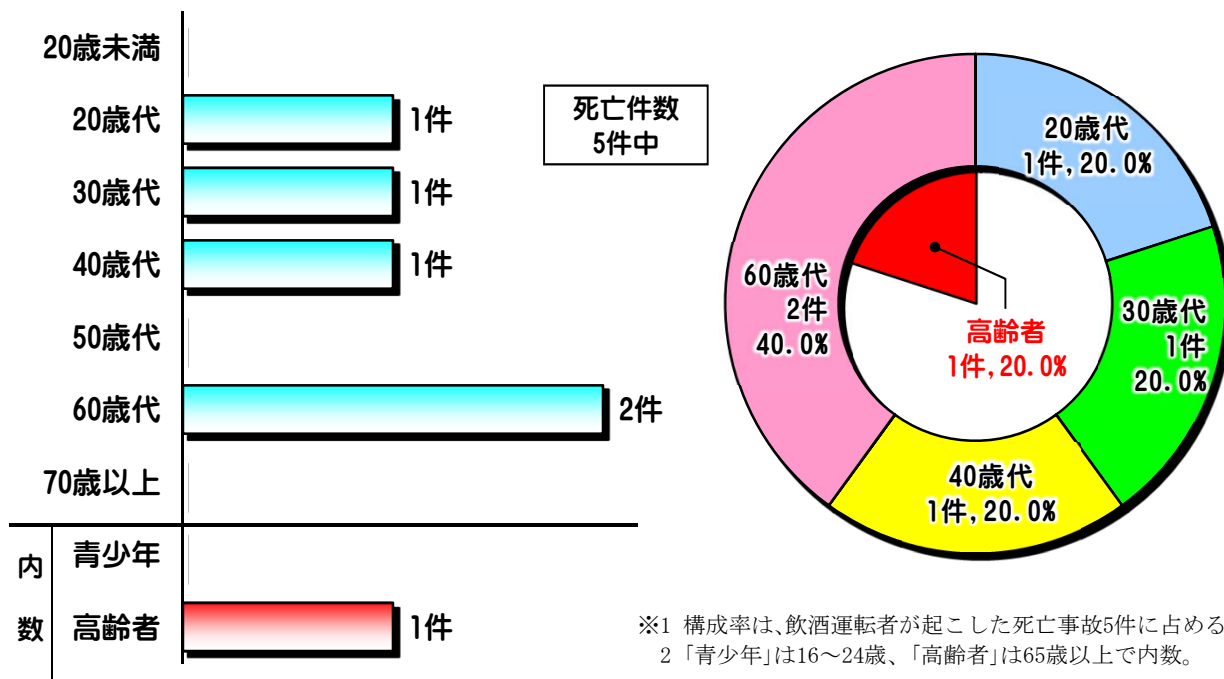


※ 構成率は、飲酒運転者が起こした死亡事故5件に占める割合。

**第1当事者の年齢層別死亡件数**

**60歳代が最多**

- 「60歳代」が2件で最も多く、「20歳代」・「30歳代」・「40歳代」で各1件。
- 内数の「青少年」は0件、「高齢者」は1件。

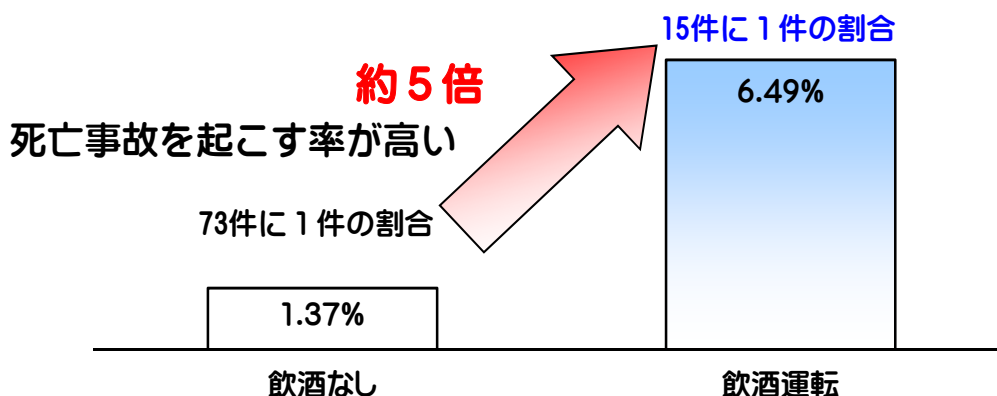


※1 構成率は、飲酒運転者が起こした死亡事故5件に占める割合。  
 ※2 「青少年」は16～24歳、「高齢者」は65歳以上で内数。

**運転者死亡事故率の比較**

**飲酒運転は約5倍も死亡事故を起こしやすい**

- 飲酒運転者は、飲酒なしの運転者に比べ、約5倍も死亡事故を起こす率が高い。



	運転者の飲酒有無		合計(平均)
	飲酒なし	飲酒運転	
死亡件数	82件	5件	87件
発生件数	5,965件	77件	6,042件
死亡事故率	1.37%	6.49%	1.44%

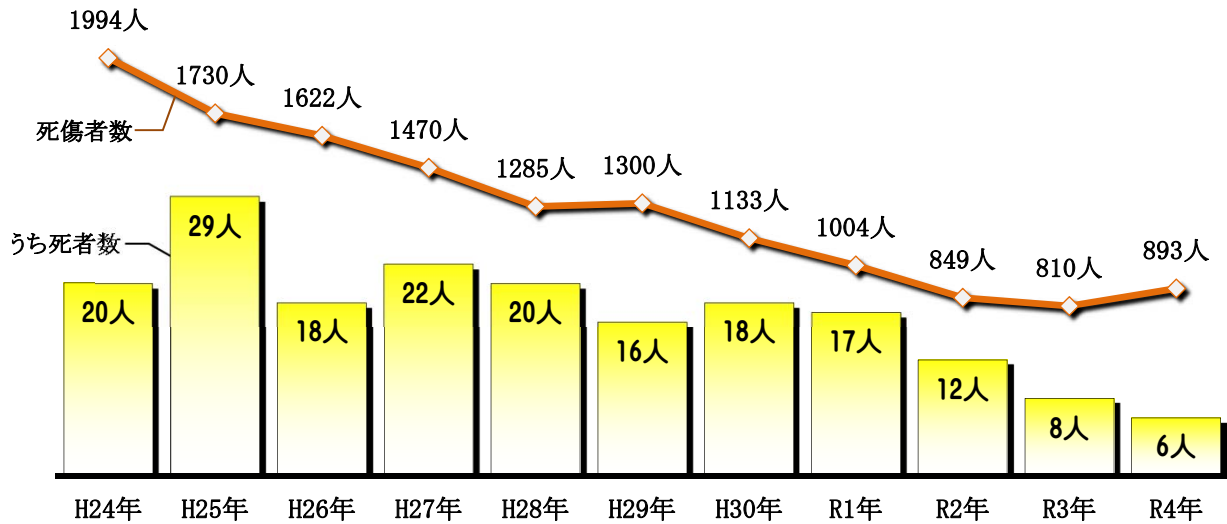
※1 死亡事故率 = (原付以上第1当事者の死亡件数) ÷ (原付以上第1当事者の全発生件数) × 100。  
 ※2 死亡事故第1当事者のうち、自転車(1件)・歩行者(0件)・ひき逃げ不明(0件)、  
 全事故第1当事者のうち、自転車・歩行者・ひき逃げ不明(計229件)を除く。

## 5 自転車に関係した交通事故

### 自転車の死傷者数の推移(平成24年～令和4年)

#### 死傷者数は増加、死者数は減少

- 死傷者数は893人、減少傾向で推移したが、令和4年は増加。全死傷者数に占める割合(構成率)は11.5%。
- 死者数は増減を繰り返して推移、令和4年は減少し、統計資料の残る昭和38年以降で最少。全死者数に占める構成率は6.6%。

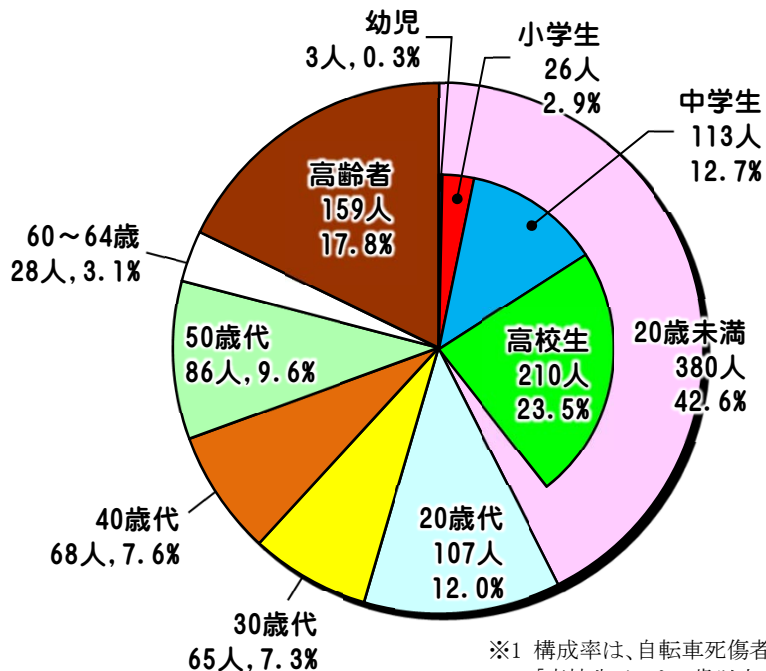


※「死者数」は「死傷者数」の内数。

### 年齢層・学齢別死傷者数

#### 20歳未満が最多

- 「20歳未満」が380人で、全死傷者数の42.6%を占め最も多く、次いで「高齢者」(159人)。
- 学齢別では「幼児」が3人、「小学生」が26人、「中学生」が113人、「高校生」が210人。



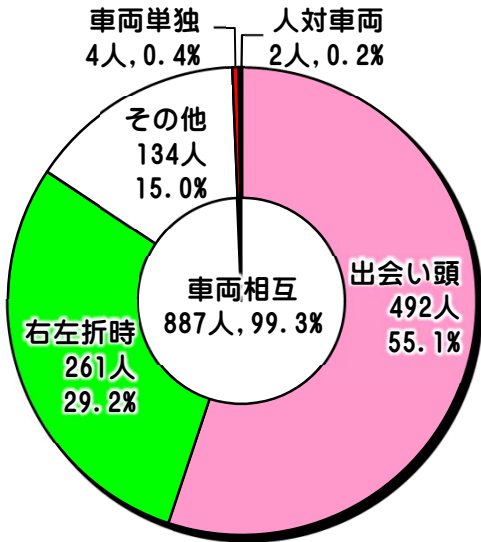
令和4年  
自転車死傷者  
893人中

- ※1 構成率は、自転車死傷者893人に占める割合。
- ※2 「高校生」には20歳以上の夜間学生等を含む。以下同じ。

**事故類型別死傷者数**

**出会い頭が約6割**

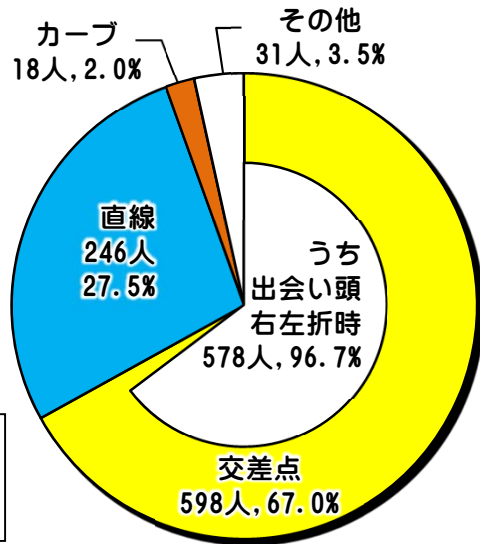
- 「車両相互」が887人で9割以上(99.3%)を占める。
- 小類型では「車両相互-出会い頭」(492人)が最も多く、次いで「車両相互-右左折時」(261人)。



**道路形状別死傷者数**

**交差点が約7割**

- 「交差点」が598人(67.0%)で最も多く、次いで「直線」(246人)。
- 交差点の598人中、出会い頭(358人)、「右左折時」(220人、計578人)が96.7%を占める。

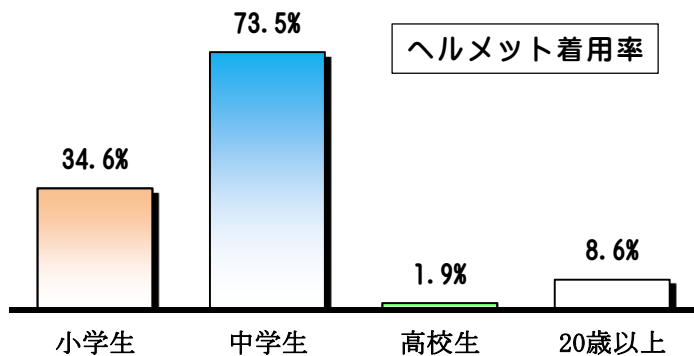
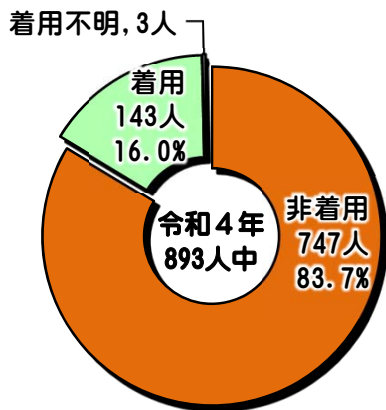


令和4年  
自転車死傷者  
893人中

**ヘルメット着用別死傷者数**

**非着用が8割を超える**

- 「非着用」が747人(83.7%)、「着用」は143人(16.0%)、「着用不明」が3人。
- ヘルメットの着用者の構成率では、「中学生」が73.5%と高く、高校生(1.9%)が低い。

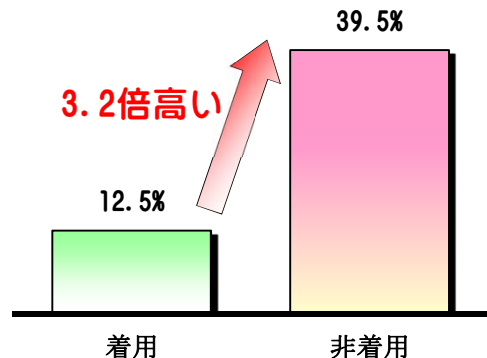


**頭部損傷の死亡重傷率比較**

**非着用が3倍以上高い**

- 頭部損傷の死亡重傷率では、「ヘルメット非着用」が39.5%で、「着用」(12.5%)に比べ3.2倍も高い。

令和4年 頭部損傷	死 傷 者 数			死亡重傷率
	死亡重傷	軽 傷	総 数	
非着用	34人	52人	86人	39.5%
着用	1人	7人	8人	12.5%

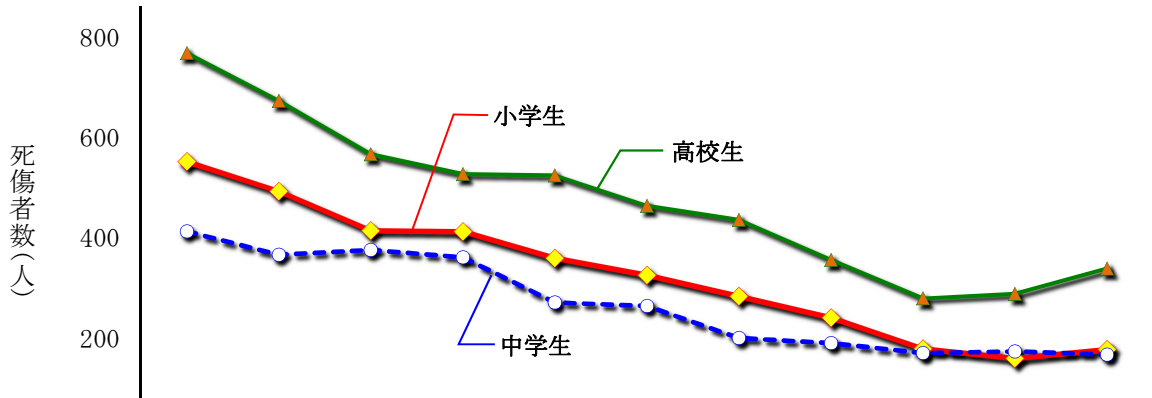


※「死亡重傷率」=(死者+重傷者)÷死傷者総数×100

**6 小学生・中学生・高校生が関係した交通事故**

**小学生・中学生・高校生死傷者数の推移(平成24年～令和4年) 各学齢とも減少傾向**

- 小学生は減少傾向で推移、平成24年に比べ約32%に減少。
- 中学生は減少傾向で推移、平成24年に比べ約40%に減少。
- 高校生は減少傾向で推移したが、令和3年から2年連続で増加。平成24年に比べ約44%に減少。

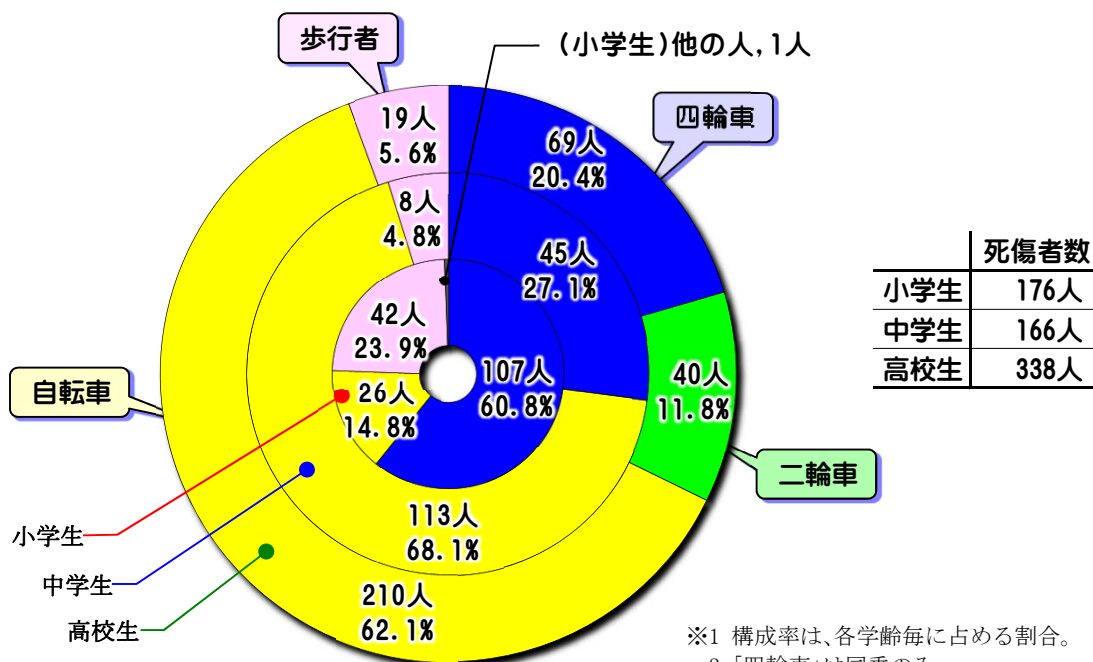


		H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
小学生	死傷者数	551	492	413	411	358	324	282	239	177	158	176
	死者数			2		1		1		2		
中学生	死傷者数	412	365	375	360	270	263	199	189	169	172	166
	死者数	1		3	2			1				
高校生	死傷者数	768	673	566	526	524	463	435	355	278	287	338
	死者数	7	4	4	2	3	1	1	6	1	1	2

※1 「死者数」は「死傷者数」の内数。 2 「高校生」には20歳以上の夜間学生等を含む。

**学齢・状態別死傷者数(令和4年)**

- 小学生は四輪車同乗が107人(60.8%)で最も多く、次いで歩行者(42人)。
- 中学生は自転車(113人)が最も多く、次いで四輪車同乗(45人)。
- 高校生は自転車(210人)が最も多く、次いで四輪車同乗(69人)。



※1 構成率は、各学齢毎に占める割合。  
2 「四輪車」は同乗のみ。

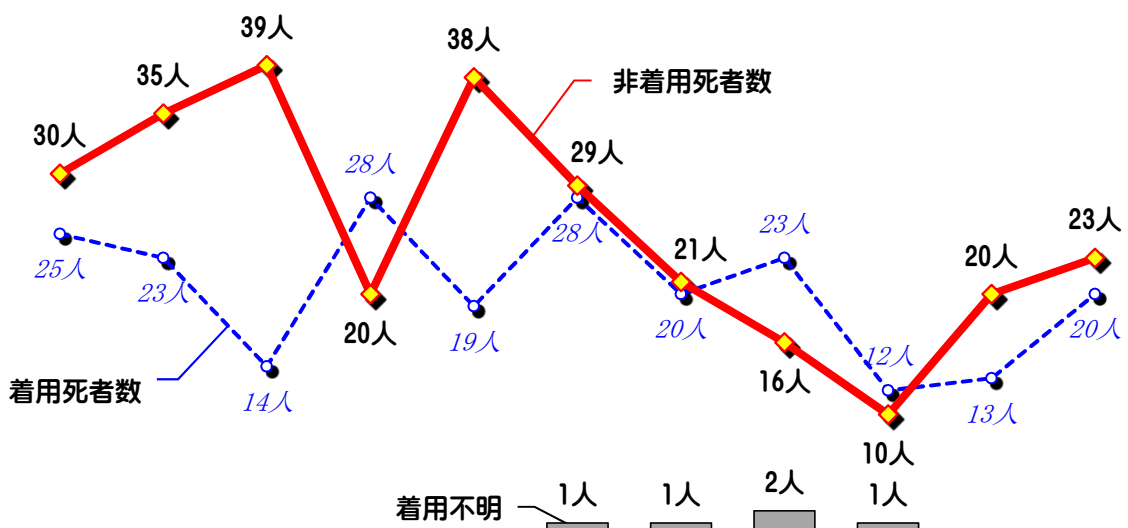


## 7 シートベルト着用状況

### シートベルト非着用死者が5割を超える

- シートベルト非着用死者は23人、平成29年から4年連続で減少したが、令和3年から2年連続で増加。
- シートベルト着用死者は20人、増減を繰り返して推移後、令和3年から2年連続で増加。
- 非着用死者はピーク時(平成5年・203人)の約11%、着用死者はピーク時(平成13年・82人)の約24%に減少。

シートベルト着用別死者数の推移(平成24年～令和4年)

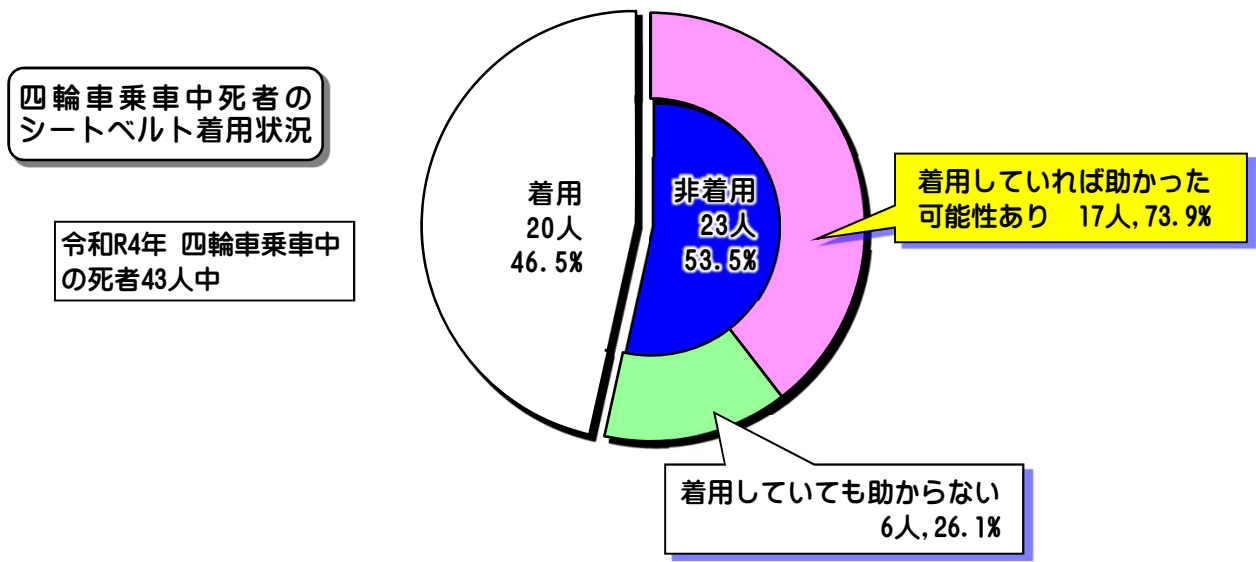


	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	
構成率	非着用	54.5%	60.3%	73.6%	41.7%	66.7%	50.0%	50.0%	39.0%	43.5%	60.6%	53.5%
	着用	45.5%	39.7%	26.4%	58.3%	33.3%	48.3%	47.6%	56.1%	52.2%	39.4%	46.5%
	着用不明	-	-	-	-	-	1.7%	2.4%	4.9%	4.3%	-	-

※ シートベルト着用状況の対象は、トラクター等の特殊車を含む、四輪車の乗員全て。

### 非着用死者の7割以上は、着用していれば助かった可能性あり

- 四輪車乗車中の死者43人中、「シートベルト非着用」が23人(53.5%)、「着用」は20人(46.5%)。
- 「非着用」死者23人中、73.9%に当たる17人は、シートベルトを着用していれば助かった可能性あり。



## 8 令和5年の総合的な交通安全対策

茨城県警察では、令和5年の総合的な交通安全対策の主な推進項目を

- 子供や高齢者をはじめとする全ての道路利用者の安全の確保
- 悪質・危険な運転者の排除等の交通事故抑止に資する取締りの徹底

等と定め、交通指導取締りを始めとする各種街頭活動、関係機関・団体と連携した交通安全対策・広報啓発活動等を推進し、交通事故の更なる減少を目指すこととしている。

一般部門A：運転者（同乗者を含む）に呼びかけるもの

- ◎ 運転は ゆとりとマナーの 二刀流
- もちましよう 心の余裕と 車間距離
- 「なにで来た？」 乾杯前の 合言葉

一般部門B：歩行者・自転車利用者に呼びかけるもの

- ◎ 自転車に 乗るなら必ず ヘルメット
- 反射材 「ここにいるよ！」の メッセージ
- なれた街 いつもの道でも みぎひだり

こども部門：子供たちに交通安全を呼びかけるもの

- ◎ ペだるこぐ ぼくのあいぼう へるめつと
- あげた手は いのちをしらせる 警報機
- あぶないよ いそぐきもちに しんこきゅう
- 登下校 なれた道でも 気をつけよう

問い合わせ先

茨城県警察本部 交通部 交通総務課

郵便番号	310-8550
所在地	水戸市笠原町978番6
電話	029(301)0110 内線5042
URL	<a href="https://www.pref.ibaraki.jp/kenkei/a02_traffic/index.html">https://www.pref.ibaraki.jp/kenkei/a02_traffic/index.html</a>
E-mail	keikoso@pref.ibaraki.lg.jp